

愛知県図書館企画展示

翻訳小説を愉しむ

トルストイの『戦争と平和』の翻訳本が刊行されて今年でちょうど 100 年、近代以降日本では数多くの翻訳小説が出版されました。「数が多すぎて何を読んだらいいのかわからない」という声にお応えして、名作の数々とガイドブックや翻訳小説に関連する分野の本など約 1000 冊を集めました。貸出もできます。どうぞ読書の秋をお楽しみください。

＜期間＞

平成 26 年 10 月 10 日 (金) ~ 12 月 10 日 (水)

＜会場＞

愛知県図書館 1 階ロビー



展示資料の一例をご紹介します。展示資料は貸出できます。



長編名作をじっくり。

トルストイ『戦争と平和 全6冊(岩波文庫)』100年前に初めて邦訳されてから何度も翻訳されてきた名著。サマセット・モームが『世界の十大小説』のうちの一つに挙げている。19世紀初頭のロシア貴族の興亡がテーマ。
プルースト『失われた時を求めて 全13巻』1996-2001 集英社 第2篇「花咲く乙女たちのかげに」が1919年ゴンクール賞(仏)受賞。最近、岩波書店と光文社から文庫版の新訳が刊行中。
ウィリアム・フォークナー『寓話 上・下(岩波文庫)』1977 岩波書店 全米図書賞・ピューリッツァ賞受賞。
G. ガルシア=マルケス『百年の孤独』2006 新潮社 1982年ノーベル文学賞受賞。著者の出身地コロンビアを舞台にした、ある一族の盛隆と没落の百年の物語。2014年4月没。
イアン・マキューアン『アムステルダム』1999 新潮社 1998年ブッカー賞(英)受賞作。死んだ女性が生前撮った写真が元で、葬儀に参列した元恋人たちの奇妙な関係が始まる。著者は『贖罪』で全米批評家協会賞を受賞。



短編小説、いろいろ。

『百年文庫 58 顔』2010 ポプラ社 このシリーズは世界や日本の名作短篇から「心」「罪」「森」など、漢字一文字のテーマに沿った作品を集めた全100巻のアンソロジー。この巻にはディケンズ「追いつめられて」、ボードレー「気前のよい賭け事師」、メリメ「イールのヴィーナス」を収録。今回は外国文学が収録されている巻のみ展示。
サマセット・モーム編『世界文学100選 全5巻』1961 河出書房新社 自らも短編小説の名手であるサマセット・モームが選んだ短編小説を集めた。アーヴィングヤステープンソン、ジャック・ロンドンなどを紹介。
オー・ヘンリー『オー・ヘンリー傑作選』1991 岩波書店 有名な「最後の葉」をはじめ全20作収録。
カレル・チャペック『カレル・チャペック短編集全3巻』2007 青土社 チェコの国民的作家チャペックの短編集。



ブックガイドでひろげる。

青木和夫ほか『知っておきたいイギリス文学』2010 明治書院 知っておきたい50作品をあらすじとよみどころで解説。同様に外国文学を紹介する「知っておきたい」シリーズで「アメリカ」「ロシア」「フランス」がある。
池澤夏樹『池澤夏樹の世界文学リミックス』2011 河出書房新社 著者は2007~2011年に戦後の小説を集めた『世界文学全集全30巻』(河出書房新社刊)を一人で編集。夕刊紙で連載した全集の内容紹介を集めた文学ガイド。
中村邦生『書き出しは誘惑する(岩波ジュニア新書)』2014 岩波書店 書き出しによる名作案内。



翻訳者のうらばなし。

鴻巣友季子『明治大正翻訳ワンダーランド(新潮新書)』2005 新潮社 今も読み継がれる名作を最初に翻訳した森田思軒や内田魯庵などの翻訳秘話。「小公子」「復活」「人形の家」などのエピソードが満載。
金原瑞人『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』2005 牧野出版 著者は大学教授にして英米文学の翻訳300冊以上。就職難で大学卒業後は屋台のカレー屋でもやろうかと思っていたがいつの間にか……。
村上春樹・柴田元幸『翻訳夜話(文春新書)』2000 文芸春秋 “僕”と“私”はどう違う?村上春樹と東京大学教授の柴田氏と翻訳を志す若者との質疑応答を含むフォーラムの記録。続編はサリンジャーを取り上げている。



小説のバックグラウンドを知る。

大串夏身『世界文学をDVD映画で楽しもう!』2014 青弓社「嵐が丘」「赤と黒」など世界文学の名作を映画化したDVDを紹介。分かりにくいバックグラウンドも映画をみればイメージしやすく、原作がよみたくなるかも。
柴田元幸『つまみぐい文学食堂』2006 角川書店 英米文学に登場する食べ物から紹介した一冊。
鹿島茂『馬車が買いたい!』2009 白水社 タイトルは今でいうところの「カッコいいマイカーがほしい」? 仏文学者が小説の主人公たちを例に、十九世紀パリの衣食住や交通、各種娯楽の実情を解き明かす。
榎木伸明『アイルランド紀行(中公新書)』2012 中央公論新社 スウィフト、ワイルド、ジョイスらの生地アイルランドの魅力を綴る。

【お問合せ】

愛知県図書館 総務課 企画グループ

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-9-3 Tel 052-212-2323

<http://www.aichi-pref-library.jp/>

【交通案内】

- 地下鉄/鶴舞線または桜通線「丸の内」下車8番出口から北へ徒歩5分
- 市バス/名古屋駅から幹名駅1・名駅14「愛知県図書館」下車徒歩3分

【開館時間・休館日】

午前10時~午後8時(土・日・祝日は午後6時まで)

休館日:月曜日、毎月第2木曜日

*ただし10/13(月祝)・11/3(月祝)・11/24(月祝)は開館、
10/14(火)・11/4(火)・11/25(火)は休館

